

老年看護学概論

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講時期：後期

科目責任者（職位・氏名）：教授・吹田夕起子

科目担当者（職位・氏名）：

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：66

■ 授業概要

学生が自らの高齢者観・倫理観を深化させる知識を教授する。また、加齢に関連する諸概念と理論、高齢者を身体的・心理的・社会的側面から総合的に理解する視点および高齢者の健康レベルに合わせた質の高い看護を提供するための基礎知識を教授する。さらに、人口統計および社会構造の変化、高齢者への保健・医療・福祉サービスの現状と課題を教授する。

■ 到達目標

1. 自らの高齢者観や倫理観を振り返り、その重要性について考察することができる。
2. 高齢者看護において、応用可能な理論や概念枠組みについて説明できる。
3. 加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化を説明できる。
4. 日本の人口統計や社会構造の変化を説明できる。
5. 高齢者を支える諸制度や社会資源の概要を説明できる。
6. 高齢者への心理的支援方法について説明できる。

■ 教育内容

老年看護学

■ キーワード

高齢者観、高齢者看護に用いられる理論、高齢者の死生観、人口統計と社会構造の変化、高齢者看護と倫理

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	高齢者の理解	ライフサイクルからみた高齢者の特徴、加齢と老化、自己の高齢者観（講義）	吹田
2	加齢に伴う身体機能の変化	加齢に伴う身体機能の生理的変化（講義）	吹田
3	加齢に伴う心理・精神機能の変化	老いへの適応、高齢者の知的機能の変化、高齢者の死生観（講義）	吹田
4	高齢社会の現状と課題	高齢者をとりまく社会状況、社会的変化、高齢者の生活と健康づくり（講義）	吹田
5	高齢者看護の特徴と諸理論	高齢者看護の特性、高齢者看護に関わる諸理論（講義）	吹田
6	高齢者への心理的支援	レミニッセンスの意義、介入方法（講義・演習）	吹田
7	高齢者看護と倫理	高齢者看護において遭遇する倫理的課題（講義・演習）	吹田
8	高齢者を支える諸制度と高齢者が生活する場	高齢者を支える諸制度と看護者の役割（講義）	吹田

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

試験 60%、課題レポート 40%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

授業に関する質問については速やかに授業中にフィードバックする。また、課題については、授業中または課題提出後にフィードバックする。

■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
老年看護学 ① 高齢者の健康と障害

■ 参考書・参考資料等

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・授業 1 コマにつき、事前・事後学修としてそれぞれ 90 分程度必要とする。
- ・課題レポートについては、要求されている課題について自己学修し、指定された日までに提出すること。

■ 担当教員からのメッセージ

高齢者への看護を専門的に学ぶ科目です。しっかり予習・復習をするとともに考える習慣を身につけましょう。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

研究室 7、suita@iwate-uhms.ac.jp、個別にアポイントメントをとってください。

(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

看護師

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

医療機関等での看護実践の中から具体的例を用いて説明します。